

HAKUBA

議会だより

155号

12月定例会号

令和8年1月31日発行



photo: 1月9日、三日市場地区から

午年の白馬村、力強くしなやかに！

■本会議最終日にマナー条例を可決	2
■総務社会委員会	3～4
■産業経済委員会	5
■議決結果	6～7
■中学生議会	8～9
■村政を問う 一般質問	10～18
■トピックス	19
■夢・私たちに。「わたしのひとこと」	20



本会議最終日

可決 議案第56号 第6次総合計画の基本構想
可決 議案第60号 白馬村マナー条例の制定

罰則規定を盛り込んだマナー条例



平成27年「美しい村と快適な生活環境を守る条例」の制定当時は想定しなかった迷惑行為が増えており、罰則条項の追加による法的抑止力の強化を望む切実な声に鑑み、マナーとモラルと行為規範を「守るべきルールと、してはならない行為」として一つにまとめるため、当該条例を全部改正するもの。

修正動議 提案者 鈴木議員

名称を「白馬村マナー及び迷惑行為防止条例」に修正する。(採決結果は否決)

賛成討論 永井 勝則

「マナー向上」という文言を含んだ詳細な条例名が好ましいと考え、総務社会委員会で反対したが、本文においては反対ではなく、またマナー条例という名前が村民にとって馴染みあるため、賛成。

賛成討論 丸山 宏充

交流人口の増加により新たな迷惑行為が生じる現状を踏まえ、罰則を設け抑止力を高める改正であり、快適な生活環境を守るため時宜を得た対応であると考え賛成。

修正案 賛成討論 伊藤 まゆみ

マナーという言葉はイメージを良くするためとの説明だが、ルール遵守の行政の覚悟が求められる。曖昧な言葉を使うことでその覚悟の効力は失われる。「迷惑行為防止」を入れるべき。

修正案 賛成討論 鈴木 均

条例中に禁止行為を犯せば罰則・罰金と書きながら、名称を「マナー条例」としてぼかすことは、「看板に偽りあり」。中身がわかる名称すなわち迷惑行為防止条例とすべき。

マナー条例と第6次総合計画の基本構想を可決

主な議案の審査内容

議案第56号

白馬村第6次総合計画の基本構想

議案の概要
「白馬村議会の議決すべき事項に関する条例」に基づき、白馬村第6次総合計画の基本構想を策定するもの。

問 答

理念やビジョンは整っているが、実際にどう実践していくのか。基本計画の中で具体的な取組を示し、住民参加と分かりやすい言葉を重視して実践につなげていく。

議案第57号

白馬村一般職の任期付職員採用等に関する条例の制定

議案の概要
「地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律」に基づいた任期付職員制度を新たに設けるもの。

議案第58号

白馬村空家等の適正な管理及び活用の促進に関する条例の制定

議案の概要
空き家等の適正な管理及び活用に必要事項を定めるため、条例を制定するもの。

問 答

空き家に対して村はどのような規制や支援を行えるようになるのか。

答

施行規則を整備することで、指導・勧告・命令の手続きを明確化し、撤去や利活用を計画に基づき実効的に進められるようにする。

議案第59号

白馬村快適な環境づくり条例の制定

議案の概要
環境美化に関する村、村民等、事業者及び土地所有者等の責務を明らかにし、安心で快適な生活環境で暮らすための条例を制定するもの。

議案第60号

白馬村マナー条例の制定

問 答
道路交通法等との二重規制の問題はないのか。

答

条例は理念的要素と具体的なルールを併せ持つ構成となっており、罰則の対象となる行為は明確に規定している。道路交通法などとの関係については、実際の取締りは警察が現場で判断する。

問 答

条例を実効性あるものとするため、どのような周知や具体策を考えているのか。

答

チラシ・ポスターの作成に加え、多言語対応や動画配信、看板設置などを新年度予算で検討する。住民向け説明や観光客への周知を強化し、安全で快適な国際リゾートとしての発信を進めていく。

【討論】

反対

「マナー」という曖昧な表現は、日本人の感覚を前提としており、罰則を伴う条例の名称として適切ではないため反対。

賛成

従来から「マナー条例」と呼ばれてきた経緯があり、まず村民が守るべき最低限のマナーを示し、それを来訪者にも広げていく趣旨として分かりやすいため賛成。

議案第61号

白馬村個人番号の利用等に関する条例及び白馬村宿泊税条例の一部を改正する条例

議案の概要
「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に項ずれが生じたため、法の改正に準じた規定整備を行うもの。

議案第62号

職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正

議案の概要
「地方公務員の育児休業等に関する法律」の一部改正に伴い、条例を一部改正するもの。

議案第63号

白馬村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

議案の概要
「地方公務員の育児休業等に関する法律」の一部改正に伴い、条例を一部改正するもの。

議案第64号

白馬村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

議案の概要
常勤特別職の給与改定に鑑み、議員の期末手当の支給月数を改定するもの。

議案第66号

白馬村特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案の概要

一般職の給与改定に鑑み、特別職の期末手当の支給月数を改定するもの。

議案第67号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案の概要

令和7年人事院勧告に伴う「一般職の職員の給与に関する法律」の一部改正が予定通り実施されることを鑑み、給与の改正をするもの。

議案第68号

令和7年度白馬村一般会計補正予算(第3号)

議案の概要

歳入歳出それぞれ1億9061万3千円を増額し、歳入歳出予算の総額を76億5532万8千円とするもの。

【健康福祉課関係】

带状疱疹予防接種の希望者が当初見込みより多くなり、保健予防事業250万円の増額。

問

带状疱疹ワクチンの接種が増えている理由は。

答

テレビでの宣伝効果や带状疱疹体験者からの情報により、予

防意識から接種する人が多いと考えられる。

【総務課関係】

ふるさと納税寄付額見込みを6億5千万円に増額し、それに伴う経費として、7200万円の増額。

アルプスペイの機能強化と、村民認証者への還元率優遇の前倒しを実施するため600万円の増額。

【質疑・意見】

問 アルプスペイ村民認証後のポイント付与時期を明確に周知すべきでは。

答 月2回の締め日後、付与まで約2週間かかる仕組み。今後は分かりやすく周知する。

【税務課関係】

令和6年度に実施した定額減税調整給付額が確定したため、物価高騰対応重点交付金(定額減税不足額給付分)を2176万円の減額。

【住民課関係】

雑排水の汲み取り量が増加し収集・運搬の処理委託料51万7千円の増額。

問

汲取り手数料収入より処理委託料の支出が多い理由は。

答

手数料額と処理委託料は必ずしも同額ではない。今後、差額が大きくなる場合は手数料の見直しを検討する。

【教育課関係】

中学校の部活動指導員が1名増え、活動実績も多く36万9千円の増額。

【子育て支援課】

保育士処遇改善費として施設型給付費430万円と地域型給付費1576万9千円の増額。

【生涯学習スポーツ課関係】

ノーマルヒル改修工事費に111万7千円の増額。
グリーンスポーツの森に新設した遊具(ロープウェイ)の設置費の一部として、振興公社へ負担金104万円を支出。

議案第69号

令和7年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

議案の概要

歳入歳出それぞれ433万7千円を増額し、予算総額11億4547万1千円とするもの。

議案第70号

令和7年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

議案の概要

歳入歳出それぞれ、77万2千円を増額し、予算総額1億4437万円とするもの。

クマ出没情報多数に伴い 報酬支給区分を変更

議案第65号

白馬村特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部を改正する条例

議案の概要

クマ等の目撃増加に伴い、猟友会構成の鳥獣被害対策実施隊員が、情報の都度出動するため、支給区分を変更するもの。

議案第68号

令和7年度白馬村一般会計補正予算(第3号)所管事項

〔農政課関係〕

事業実績に伴う財源振替で林業振興費133万9千円の減額。令和6年6月の豪雨災害による堀之内地区谷地川取水口の変更工事に、災害復旧事業201万3千円の増額。

問 答

問 森林病虫害等防除事業の減額は、申請数減少によるものか。
答 八方地区のふれあいの杜と八方口地区の木流川沿いのナラ枯れ木伐採及び燻蒸をする補助事業。入札が不波及び不調で、農政課の自営事業に振り替えたため減額。

〔観光課関係〕

冬期アプリ予約車を1台増して4台体制にするためのデマンドタクシー運行事業に353万1千円の増額。
白馬駅前喫煙所設置によるコンテナのリース料として49万4千円の増額。
創業支援事業の交付者決定に伴う不足分192万7千円の増額。

問 答

コンテナ設置場所は。

駅前にある土産店が所有する土地の一角に設置。駅前振興会が主体となるため、村はコンテナのリース料のみ。

問 答

創業支援事業補助金の申請者8名の業種は。

建築業、不動産売買仲介業、キッチンカー、別荘管理、ホテル事業、リラクゼーション、福祉輸送事業。

〔建設課関係〕

昨年度の大雪や降雨による道路補修に700万円の増額。

問 答

700万円の増額は、どの場所か。
答 切久保地区の新田地下道風除ドア設置に110万円、舗装の修繕に425万円、側溝の修繕に110万円、無散水消雪施設の修繕に55万円。

議案第71号

令和7年度白馬村水道事業会計補正予算(第2号)

議案の概要

資本的収入および支出の主な増額は、配水管布設替工事増工と、犬川踏切送水管布設替に伴う工事請負費。

問 答

犬川踏切以外に水道管がJRを横断するケースは。

数か所で横断している。配水管だけでなく送水管についても交換が必要。

意見

資材の高騰が予想されるため、委託先のJRに速やかに行うよう強く要望していたきたい。

議案第72号

令和7年度白馬村下水道事業会計補正予算(第2号)

議案の概要

し尿投入施設事業費確定による下水道事業債の減額と、し尿投入施設一括発注工事契約締結による工事請負費の減額

詳細はHPに掲載の各委員長報告をお読み下さい。

※各委員長報告は、正式に公開される「会議録」と違い、審議内容(発言)を要約し纏めて本会議場で発表する原稿として編集されたものです。



← 審査結果の一覧は、6ページをご覧ください。

第4回定例会 議決結果

○…可決 ×…否決

番号	案件	総務社会 委員会	産業経済 委員会	議決結果
報告第7号	損害賠償事件に係る損害賠償額の専決処分報告について	委員会付託なし		報告
議案第56号	白馬村第6次総合計画の基本構想について	○	—	可決 (反対：伊藤)
議案第57号	白馬村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	○	—	可決
議案第58号	白馬村空家等の適正な管理及び活用の促進に関する条例の制定について	○	—	可決
議案第59号	白馬村快適な環境づくり条例の制定について	○	—	可決
議案第60号	白馬村マナー条例の制定について	○	—	可決 (反対：鈴木、伊藤)
修正動議	議案第60号 白馬村マナー条例に対する修正案 提案者：鈴木均	否決（賛成：鈴木、伊藤）		
議案第61号	白馬村個人番号の利用等に関する条例及び白馬村宿泊税条例の一部を改正する条例について	○	—	可決
議案第62号	職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	○	—	可決
議案第63号	白馬村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	—	可決
議案第64号	白馬村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	—	可決 (反対：伊藤)
議案第65号	白馬村特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部改正について	—	○	可決 (反対：伊藤)
議案第66号	白馬村特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	—	可決 (反対：伊藤)
議案第67号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	—	可決 (反対：伊藤)
議案第68号	令和7年度白馬村一般会計補正予算（第3号）	○	○	可決 (反対：伊藤)
議案第69号	令和7年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）	○	—	可決
議案第70号	令和7年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	—	可決
議案第71号	令和7年度白馬村水道事業会計補正予算（第2号）	—	○	可決
議案第72号	令和7年度白馬村下水道事業会計補正予算（第2号）	—	○	可決

陳情審議結果

番号	案 件	総務社会委員会	産業経済委員会	議決結果
陳情第1号	さらなる少人数学級推進と教育増のための教育予算確保ならびに義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情	○	—	採択
陳情第2号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書	○	—	採択
陳情第3号	高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める陳情	○	—	採択

議案第56号

白馬村第6次総合計画の基本構想について

反対討論 伊藤 まゆみ

今の経済状況が続くと想定した観光重視、多様性重視の構想。次の10年では失った「地域コミュニティ、自治区の再構築」が必須。金儲けの移住者でなく、本来の住民を増やし、次世代へ手渡す。その持続可能性が欠如。

賛成討論 太田 学

第6次総合計画の基本構想が、将来像と基本的な考え方を明確に示し、今後策定される基本計画の確かな土台となる内容であり、村民の声や地域の実情を反映した実効性ある施策へ着実につながることが期待できるため賛成。

議案第64号

白馬村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

反対討論 伊藤 まゆみ

「基本構想」で大切にしたい村民性が利他的・協調的で、その連鎖を目指すとする。村の鏡、手本になるのが議員。苦しい思いをしている住民からの税金で、自分たちの報酬を増額することに後ろめたさを感じるべきだ。

賛成討論 酒井 洋

本議案は社会情勢に合わせて適応される「人事院勧告」による改正であり、透明性と公平性を確保する制度に基づくものであるため賛成。

議案第68号

令和7年度白馬村一般会計補正予算(第3号)

反対討論 伊藤 まゆみ

今回議案に上がっている議員報酬や給与の増額に反対の立場。この予算にはその補正が含まれている。本来なら報酬・給与の部分だけ修正して修正案として提出すべきだが、その技量がないので補正予算全体に反対。

討論の内容については、議員提出の原文のまま掲載しています。



白馬村キャラクター
ヴィクトワール・シュヴァールブラン・村男Ⅲ世

中学生議会

10月24日に開催された中学生議会には、3年生8人が登壇しました。質問と答弁の一部要旨のみ掲載します。議員が担当所管課と相談して答弁しました。

図書館の整備

問 誰もが利用できる図書館を新しく作ることは可能か。

答 図書館の整備は「一定の財源を確保した上で追って整備する」方針としています。新しく図書館を作ることとは可能ですが、村の財政を見ながら作る時期を見定めています。

問 現在の図書館を直して使う考えは。

答 鉄筋コンクリート造で構造的に優れた点が多くあります。構造を生かし、利用者の使いやすいさを確保した上で、有効活用する選択肢も考えられます。

エコランド地区の開発

問 エコランド地区の活性化の施策は。

答 地区には、「景観形成住民協定」があり、これをベースにした発展を目指していますが、道路拡幅は難しいです。空き店舗及び空き地は個人の所有ですので、極力情報は把握したいと思います。イベント等の取り組みや情報は、可能な限り発信を検討します。



白馬村の娯楽施設

問 村に映画館を誘致することは可能か。また雨天時の観光対策は。

答 大型映画館の誘致は人口や立地条件から難しいと思われるが、小規模なミニシアター形式なら可能性はあります。観光の雨天対策としては、体験型観光や割引施策の充実などが考えられます。スキー場を活用した映画の上映も、権利関係や費用面を整理すれば実施は可能です。

海外研修の補助

問 中学生の海外研修に全額補助は可能か。

答 教育だけでなく防災・福祉など多分野に予算を配分しているため、現時点で全額補助は難しい状況です。今後は地域や民間との連携も含め、持続的な支援の仕組みを検討します。

外国人経営の事業所の納税

問 外国人経営の事業所に課税する制度の新設は可能か。また、白馬を経済特区にすることは可能か。

答 「外国人だから」という理由で税負担を押し付けるのは税の公平・公正の原則に反するため新設は不可能。特区に関しては、どのような経済活動の活性化が目的かにもよるが申請は可能。

街路灯整備

問 熊や猿の出没により通学路に危険を感じるが、通学路の街路灯を改善する考えや特に暗い地区に街路灯を設置する考えは。

答 街路灯の設置は各行政区で行なっており、白馬村地域づくり事業補助金交付要綱の中で、防犯灯設置に必要な費用を2分の1以内で補助しています。通学路の街路灯については、学校のPTAから区長へ要望をお願いしてください。

環境改善

問 暑さ対策として、ランチルームのエアコン設置は。

答 ランチルームは指定避難所としての役割も見据え、空調整備が必要と認識しています。令和8年度当初予算でエアコン設置を検討します。

白馬への交通手段

問 長野駅から白馬への鉄道の新設は。

答 すぐには難しいかもしれませんが、わくわくする提案なので夢じゃないかもしれません。

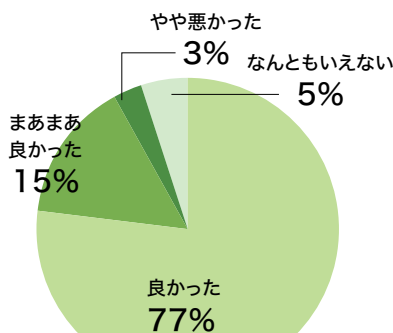
問 松系連絡道路の進み具合は。

答 安曇野ICの北側から松川村や大町方面に向かって新しい道路が造られます。大町市内のルートが決まれば、次は白馬村の番になります。

中学生議会を終えてのアンケート結果

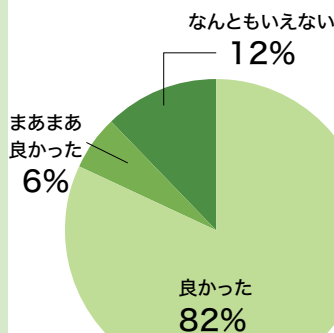
質問

今回のように、実際に議場で行なっている議会を体験してみているかができたか



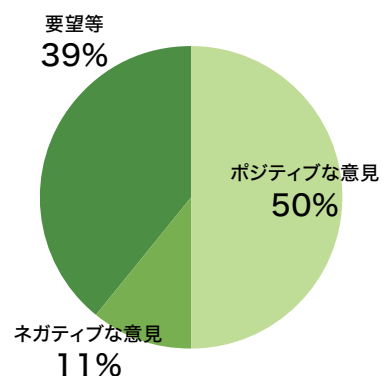
質問

今回『議員』という立場で一般質問を体験していただきましたが、どうでしたか



質問

中学生議会を体験して思ったことや、要望、改善してほしいことはありますか



アンケート結果は、今後の議会活動の参考にします。

一般質問

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます。

質問者一覧

子ども子育て・除雪支援を

鈴木 均 11

後継者不在で資産売却予定の把握は

伊藤 まゆみ 12

地区の草刈り作業の軽減対策は

永井 勝則 13

松糸道路の白馬ルート(案)は

酒井 洋 14

白馬村ロゴの統一について

太田 学 15

実施方針の変更の理由は

丸山 和之 16

地域コミュニティは誰が支えるか

切久保 達也 17

任期満了となる村長の進退は

松本 喜美人 18

フォトニュース



1月10日、堀之内地区で行われた「おんべ」



鈴木 均

子ども子育て・除雪支援を

優先順位等を考え、引き続き検討します

【丸山村政の実績と残る課題は】

問 村長になって3年余、実績と残る課題は。
答 就任に際し5つの分野を掲げましたが、多

くは達成できませんでした。来年度は実現できていない項目と新たな課題解決に向けて5項目あります。

【「はくばつ子応援金」増額を】

問 昨年の白馬村の出生は第3子6件、第4子

1件で、多子世帯出産応援給付金として合計16万円支出。これを第1子から出産祝金として5万円にできないか。

また、小学校入学・小中学校卒業祝金の現行1万円を、小学校入学と卒業に5万円、中学校卒業に10万円にできないか。

答 第1子からの出産祝い金は重要な指摘と受け止めています。恒久的経費で総合的な施策体系の中で慎重に判断する必要があります。将来を見据えた財政運営、子育て支援施策全体の優先順位、持続可能性を踏まえ、引き続き検討します。

問 あえて多子世帯に限定する理由は何か。

答 給付金を出したいという思いはあるので、新年度の重点項目としても、もし可能であれば取り組みたいです。

問 村の出生は平均50人に満たない。一人5万円でも250万円だ。

答 ふるさと納税がないと充てられないような財政状況にあることをご理解ください。

【学校徴収（納入）金と給食費支援】

問 ①小学校で7万円以上、白馬中学校で11万円以上徴収されているが、減額できないか。②給食費を少なくとも半額補助すべきではないか。③小中学校での演劇や音楽鑑賞会が行われているか、財源は。④就学援助制度の周知不足はないか。⑤就学援助家庭への入学準備金の支給日と支給金額は。⑥学校運営協議会議事録を公開すべき。

答 ①学校納入金は、保護者の負担をできる限

り軽減することに努めていて、学用品の再利用などを進めています。②給食費の大北管内での格差はあります。国の動向に注視しながら、給食費の軽減に取り組みます。③毎年、演劇または音楽鑑賞会を行ない、費用は1人1200円の半分の村が補助しています。④周知不足はありません。⑤入学準備金は1月頃に保護者説明会を行い、3月に新1年生に5万4060円、新中学1年生には6万3000円を支給しています。⑥学校運営協議会の次回会議から、結果について積極的に提供するように努めます。

問 教材費補助として小学校5千円、中学校1万円の支援をできないか。

答 タブレット端末等、かなりの支援もしている現状もご理解ください。

【除雪支援】

問 6月議会での除雪支援の質問で「所得割課税世帯」にも費用支援の改善と除雪事業者リスト作成の要望に、検討したいと前向きに答弁されたが進捗は。

答 住民税所得割課税世帯まで拡大した場合、さらに財政負担が生じます。除雪あつせん事業者については、人手不足で見つかりません。除雪課題は引き続き対応策を継続しながら、課を超えて一緒に考えていきます。



鏡開きのお餅で雑煮。1月13日の給食献立

問 後継者不在で資産売却予定の把握は

答 自分の代で廃業、売却の有無は不明



伊藤 まゆみ

【資産売却・離村・人口減少及び土地価格の高騰による住宅不足】

問 今、白馬村で起こっている土地家屋の資産

売りは、大型の特に海外からの投資が大きな要因。これに先立ちH28年に検討した「旗艦ホテルの誘致」と称する要望書が引き金になったとの認識は。

答 大規模開発の基準改定が引き金というこ

とではなく、本村の国際競争力の高いリゾート地としての魅力的な取引としての魅力が主たる理由と考えます。

問 これ以上の資産売りを食い止めるべきと考えるか。考えるのであればその施策は。

答 県に相談し土地取引の規制に関する措置と開発規制の要綱への追記・修正を検討します。建築用途や宿泊施設のあるべき総数などを県に相談し有識者と共に進めます。

問 滞納がまだ1億6300万円あるが、その処理のための差し押さえを何件予定しているか。

答 督促状が発送され10日経過日までに完納されなかった際に財産調査後、差し押さえ可能財産が見つかった場合に行われるため、予定を聞かれても答えられません。

問 売却・離村の大きな要因である後継者不足。

答 後継者不在で資産を売却する予定の事業者がどのくらいいるかの把握は。後継者不足に対してどのような対処、措置を検討しているか。

答 昨年度村内事業者対象に後継者の実態や課題意識のアンケートを県、商工会、村の共同で実施しました。発送1205者、回答率18%。後継者不在率55%。後継者不在の120者中72%の86者が「自分の代で廃業」です。実効性ある後継者不足対策推進にあたり、国や県、商工団体、金融機関との連携を進めます。

税における割合を算出するのは不可能です。

問 白馬村を経済特区として申請し、特区のメリットである税制優遇措置、規制緩和、インフラ整備で地元企業が国際競争に直面しながら成長するチャンスがあると考えます。結果日本人観光客の増、外食難民問題の解決、日本人企業にもチャンスがある。現在は外国人経営企業だけが増えているという状況を打開できると考えるが、これ以外に日本人経営者が増える方策は。

答 外国人経営の事業と特区】白馬村で外国人が経営している本支店の法人村民税は納入されているか。納入済の場合、法人村民税全体の何%か。

答 法人村民税を課税するのに必要な情報は資本金額、従業員数及び法人税額で、代表者の国籍に関する情報を把握する必要がありません。そのため法人村民

滞納を減らし底上げしてブランド化を

問 観光立村にもつながる

答 観光立村にもつながる

問 滞納は市民のSOS

答 滞納は市民のSOS

問 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

答 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

問 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

答 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

問 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

答 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

問 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

答 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

問 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

答 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

問 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

答 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

問 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

答 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

問 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

答 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

問 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

答 小規模の事業者、個人事業主が多いという現状をどう捉えているか。

5年前の議会だより



永井 勝則

問 地区の草刈り作業の 軽減対策は

答 完全な解決策はないが、
努力を重ねたい

【草刈り作業の負担軽減】
高齡化や人手不足により、地区の草刈り作業が年々大変になっている。村は現状をどこまで把握しているのか。

答 草刈り作業の回数は地区紹介票で把握しています。参加人数や平均年齢、作業負担の度合いまでは把握していません。しかし地区懇談会を通じて、高齡化等による負担の増大は十分認識しています。

問 他自治体の事例調査と村内の具体例は。

答 長野県NPOセンターの「草刈りバスターズ養成講座」や、岡山県吉備中央町による「草刈り応援隊」への補助など、草刈り支援の取組が全国で行われていることは承知しています。村でも、シルバー人材センターへの奈良井地籍の草刈りの依頼（現在は「神城姫川地区保全会」に委託）や、青鬼地区堰作業でのボランティア募集、「ラジコン草刈り機等」の体験会といった実施例があります。

問 シルバー人材センターや民間への委託補助は。予算と人材の確保が課題です。

問 ラジコン草刈り機や草刈りロボット等の

導入助成は。

答 地域づくり事業補助金が活用できます。今年度エコランド地区では電動草刈り機2台を購入し、3分の2を村が補助しました。

問 ボランティアへのポイント付与制度は。

答 地域通貨「アルプスペイ」を使って、草刈りなどさまざまなボランティア活動への活用を実施したいと考えています。

問 ふるさと納税型の地域応援制度は。

答 「協働のまちづくり推進補助金」の活用が可能なので、地区でご検討ください。

問 モデル地区を設定した試験的な実施は。

答 ボランティアの受入態勢が重要です。区長会等で問いかけをし、前向きに受け入れてもらえる地区から展開していきたいと考えています。

問 地域維持の将来像とその優先度は。

答 地域コミュニティの維持は優先度の高い

重要課題であり、第6次総合計画の基本構想でも重視しています。状況や課題は地区ごとに異なるので、将来像は地区の皆さんに描いてもらい、それを村が支援していくことが望ましいと考えています。

問 草刈り作業については地区懇談会等で長年訴えてきた。なぜ進展しないのか。

答 高齡化や人手不足といった課題には、すべてを一律に解決する手法が見出せないのが現状です。毎年同様の答弁で心苦しく思います。関係機関に依頼できる部分は依頼しているものの、本来村が行うべき作業について地区に協力してもらっている部分もあります。

問 村外人材との協働や部局間連携は。



希少植物を避けて草刈り
右上はツルフジバカマとヒメシロチョウ（「わかぜん」提供）

答 希少植物（ツルフジバカマ）の保全をきっかけに長野市の若者団体と地区が協働した事例は今後のヒントになります。庁内連携の不足を反省し、情報共有を強化します。「白馬ファンコミュニティ」事業等を活用し、ワインウインの関係づくりを進めます。

問 松糸道路の白馬ルート (案)は

答 現時点では手が付けられていない



酒井 洋

【松糸連絡道路における白馬村内ルート(案)の検討状況】

問 白馬村内のルート(案)の調査・検討状況は。

答 現段階では、白馬村内での地形や交通量などの基礎調査については、手がつけられておりません。事業主体である長野県に対しては、早期に調査が行なわれ、ルート帯の評価作業が早急に進められるよう要望しています。まずは大町市バイパス区間のルート選定作業を優先し、その目途が立った段階で、本村のルート選定の

ルート案を検討していく必要があります。

問 第6次総合計画での構想は。

答 地域振興や二次医療圏への交通確保など、広域幹線道路の必要性を明記し、村内ルート選定に向けた課題の整理と情報提供・意見集約などを組み込んでいきたいと考えています。

作業に入るとの県側の考えを示されています。

問 村から県に対してルート(案)を提出する考えは。

答 ルート選定に当たっては、想定される複数ルートについて、それぞれのメリットやデメリットを評価項目として捉え、それを村民と共有した上で、最大限の効果をもたらすルート帯を選定していくというプロセスが非常に重要だと考えています。

問 バイパス(案)と現道活用(案)の比較検討は。

答 バイパス化した際の並行区間となる現道の扱いについて、市町村移管との考えが示されています。その場合は維持管理コストの増大が懸念されることから、この点も加味しながら

問 住民説明会の開催予定は。

答 長野県から調査やルート帯評価についての方針が具体的に示されていない段階で、住民説明会を行なう計画はありませんが、村内においても地域高規格道路建設に向けた機運をさらに高めていく必要があります。

問 冬季特急バス運賃の上昇に伴う通学費助成は

答 特急バスを利用する生徒のみの助成は難しい

【冬季における特急バス運賃の上昇と助成】

問 冬季、白馬長野線の特急バス料金が上昇することへの認識は。

答 人件費や運行に係る諸経費全般が物価高による影響を受けたことや、会社の方針に基づき価格をリアルタイムで変動させる運賃体系を適用させていると推察できます。

問 通学者へ交通費助成の検討は。

答 冬季の交通費負担軽減を目的とした助成制度を検討した経過はありません。特急バスを利用する高校生のみに交通費を助成することは、他の地域の高校に通う高校生もいることから難しいと考えています。

問 国・県の交通支援補助制度の活用は。

答 国・県の補助制度とも、運賃を低減させるための制度設計ではないので、交通費を助成する活用はできません。

問 事業者との協議・対応は。

答 事業者との協議・対応は。

答 運行事業者とは、行政施策の遂行においても様々なつながりがあり、住民に配慮した価格設定について実行していただけるようお願いしていきます。



松本糸魚川連絡道路 現道整備区間
「白馬北工区(通地籍)」改築工事推進中



太田 学

問 白馬村ロゴの統一について

答 統一に向けた検討が必要

【白馬村ロゴ統一】
問 村章などのロゴ使用ガイドラインを作る
考えと、時期と所管は。
答 新しいブランド・ロゴ
を作るかを検討する

必要があります。そのため、策定時期は現時点では未定です。検討に当たっては、行政や観光などそれぞれの視点が必要となることから、庁内で調整を行い、取りまとめは総務課が担う考えです。

問 例えば村章の取扱いを規則や要項で定める考えは。
答 村章の形状比率は条
例で示していますが、他自治体では規則や要項で定める例があります。村章の権利は村に帰属します。公共性と公益性があり、村の尊厳を損なわないものに限って認める考えです。申請手続や使用ルールを早急に研究し、実施したい考えです。データの公開は、利用規程で営利目的などの扱いを整理した上で判断します。

問 有害鳥獣対策について

答 報酬区分見直しや人材確保も含めて対応する

問 鳥獣被害防止計画の捕獲目標に対し、令和7年度の達成状況は。
答 12月1日現在で、イノシシとニホンジカは捕獲目標に達していません。ニホンザルは達成しています。ツキノワグマは状況により都度許可申請しています。次年度以降の目標は今年度実績を踏まえ、猟友会と相談して決めます。サルは被害が多いため捕獲頭数を増やしたい考えです。わなの設置場所も捕獲しやすい場所へ見直します。

問 実施隊の体制、村職員の負担軽減について。
答 実施隊は村職員と猟友会員で構成します。熊などの目撃に伴う緊急出動は報酬を支払います。単価は1日3000円ですが、1日で複数回出動もあるため支給区分を「1日」から「1回」へ改正したい考えです。通報は聞き取り後に防災システムへ入力し、防災無線や公式媒体で周知して出動します。事務負担の軽減として、猟友会員から推薦があれば会計年度任用職員として雇用し、事務も含めて担ってもらう案があります。

問 担い手確保、緊急銃猟の運用は。
答 猟友会員には免許更新費用などを助成し、担い手確保に努めています。緊急銃猟は9月1日から運用し、9月30日に警察などと訓練を実施しました。県に専門的訓練を要請し、安全管理を徹底します。

人とクマの生息域を地図上で分けし、それぞれのエリアに応じた適切な対策を講じる「ゾーニング」を6月20日から運用し、区分確認により緩衝帯整備や緊急銃猟の判断がしやすくなり、職員意識が向上しました。



実際のクマ出没場所で緊急銃猟訓練が行われた

問 実施方針の変更の理由

答 BT+コンセッション方式の事業実施は困難



丸山 和之

【新八方池山荘建替え事業】

問 新八方池山荘建替えの経緯は。

答 平成28年度の白馬村公共施設等管理計画において、老朽化対策として必要な更新及び安全対策を講じることが位置付けられました。山小屋検討会議で、八方池山荘のリニューアルを行うことを決定し、令和4年度には「八方池山荘建替基本計画」を策定、5年度には官民連携調査の結果、BT+コンセッション方式で事業実施することを決定しました。

問 実施方針変更の経緯と理由は。

答 BT+コンセッション方式において、実施方針の公表後に改めて工事費の概算設計を行ったところ、当初算出した概算金額から大幅な増額となりました。村の財政指標のシミュレーションを行った結果、この方式による事業実施は困難であると判断しました。

問 これまでのPFI(官民連携)手法は継続しつつも、幅広い連携手法を再検討することに變更しました。

答 今回の方式における委員会は、一旦終了となります。

問 審査委員会は継続するのか。

答 事業規模の縮小も含めて検討していくのか。

答 現在、国立公園内における宿舎事業として、村が環境省から営業許可を出されていることを踏まえ、営業形態や避難小屋としての機能を損なわない範囲での調整を行っていきたいと考えています。

問 今回の方針変更で、国立公園内での国の基準も変わるのか。

答 方針変更による国の許可基準が変わることとはないと認識しています。現況では、具体的な組み立てが不透明な状況にもあるため、国との調整までは実施していません。

問 方針変更によって、山荘のイメージも變更するのか。

答 「八方池山荘建替基本計画」を基本に、「ランドスケープと建築が一体となり、白馬三山の眺望を最大限満喫できる白馬一番の眺望スポット」、「白馬山岳観光の拠点として、あらゆる属性のゲストに情報・眺望・魅力的なカフェ、食事、宿泊機能を提供」、「誰でも気軽に行けるバリアフリーな山荘」の3つを目指すものとして掲げているところです。

問 今後、村は税収増により交付税が減額され、財政的に厳しくなることが想定される中、交付税に頼らない財源の確保が必要と考える。これからの事業の内容によっては、稼ぐ事業へと展開するという考えは。

答 村そのものが稼ぐのか、民間が稼いだものを還元していただくのかという点もありますが、稼げる場所があつて地域が豊かになることが理想だと考えています。

※BT+コンセッション方式(Build建設)とTransfer(移転)で民間が施設を建設・完成後に所有権を自治体に移し、その後「コンセッション(運営権付与)」により、運営権を再度民間事業者者に設定して維持管理・運営権を含む官民連携手法



現在の八方池山荘



切久保 達也

問 地域コミュニティは誰が支えるか

答 外国人住民も担い手

【多文化共生と地域活性化に向けた白馬村の対応】
村は外国人住民や起業家の状況を、どの程度把握しているか。

答

住民基本台帳により、3か月以上在留する外国人住民の人数は把握できています。また外国人事業者については、約20事業者で構成される「白馬インターナショナルビジネスアソシエーション(HIBA)」と連携し、観光や交通、地域課題について定期的に意見交換を行っています。

問

外国人住民の生活上の課題はあるか。

答

言語や文化の違いから、行政区加入、学校・保育現場での対応、ごみ分別、交通ルールなどで課題が見られます。特に教育現場では、日本語が十分に理解できない児童や保護者への対応が課題となっていて、日本語指導員の配置やICT翻訳の活用などで対応しています。

問

外国人住民への情報提供や支援は。

答

多文化共生ポータルサイトや英語版広報紙の発行、健康診断や医療情報の多言語対応、ごみ分別アプリの提供などを行っています。

ます。子育て分野では、妊娠

期から18歳までを対象に、外国籍家庭にも日本人家庭と同様の相談・支援を実施しています。

問

外国人住民は地域社会や制度の維持にどのように貢献しているか。

答

人口減少が進む中、外国人住民は観光産業をはじめ地域経済を支える重要な存在です。また、学校や医療、保育といった制度を「利用する側」であると同時に「支える側」でもあり、地域コミュニティの活力維持にも貢献しています。

問

外国人起業家の知見はどのように活かされているのか。

答

海外市場の視点やデジタル発信力など、外国人起業家の知見は、インバウンド施策や観光戦略に活かされてきました。今後も観光地経営ビジョンの推進において、DMOや関係団体と連携しながら協働を進めていきます。

問

外国人住民の声は村の意思決定に反映さ

れているか。

答

総合計画策定時の外国語アンケートや、HIBAとの意見交換を通じて意見を反映しています。今後は、より多様な住民の声を継続的に政策に活かせるよう、対話の場づくりを進めていきます。



国籍を超えた協働が、白馬の観光と地域経済を支えている

任期満了となる村長の進退は

答 今に残り任期の責務を全うする



松本 喜美人

【村長進退の有無】

問 令和8年8月6日で、任期が満了となる。進退は。

答 村長 任期の責務を全うすることを最優先として、未達成の公約の実現に向けた取組や新たな課題解決のために邁進します。そのうえで、進退の判断は状況を踏まえ適切な時期に、村民の皆様にお伝えしたいと考えています。

問 公約達成度の自己評価は。

答 概ね9割近く達成と判断

【公約の達成度】

問 村長の公約では、5本柱の政策として持続可能な観光地、農業振興と自然環境、安心な暮らし、豊かな教育立村、健全な行財政運営を掲げた。現時点における達成度は。

答 村長 5分野の公約を掲げ、細かく35の項目を設定しており、項目に掲げた事項は9割近く達成と判断しております。

問 達成度の低い項目と、その要因は。

答 村長 達成度が低い項目が大きく4つあります。既存施設や空き店舗の活用、週末農業の仕組みの活用による人材育成、介護士や保育士の人手確保の不安解消、住宅サポートです。要

因としては、民間事業者の存在、マンパワー不足、制度上の課題と財源確保が主要な要因です。

問 新年度予算編成の注視点は。

答 高市政権の減税施策が焦点

【新年度の予算編成】

問 予算編成の基本方針は。

答 村長 新年度から始まる、第6次総合計画の前期5年間の基本計画初年度として、各政策や施策の着実な遂行と、持続可能な財政運営の推進です。

問 新年度の重点施策は。

答 村長 営農者の支援と農業を取り巻く環境整備、人材不足の児童、高齢者福祉では保育士・介護士、地域福祉では医師・看護師・役場職員の人材確保、地価や家賃高騰による定住者の維持に対応する施策研究と実践、宿泊税の適正徴収と有効活用に取り組む考えです。

問 予算編成上で無視できないのが、国内景気と国政では。

答 村長 今後の国内景気は、小幅な変動を伴い緩やかな改善基調の見通しと各種の報告です。新政権における減税政策が、地方交付税における影響が歳入面での重要ポイントです。

問 中期的に捉える本村の課題は。

答 第6次総合計画の確実な遂行

問 【中期的に捉える本村の課題】

問 向こう5年間くらいの本村の課題は。

答 村長 新年度から始まる、第6次総合計画の確実な遂行が重要課題です。

これまでも、達成できない要因として財政的課題があり、国では現在各種

減税策が打ち出されており、地方交付税が安定的に入らない懸念もあり、地方交付税に頼らない自主財源の確保が重要と考えます。



住民課では、円滑な窓口対応のため番号札による受付方式を導入し、窓口受付番号発券機を設置



白馬小谷議員研修会

令和7年11月17日に小谷村において、白馬小谷議員研修会を開催しました。

小谷村から県道千国北城線道路改良促進期成同盟会発足希望の説明を受けました。

今後、この道路改良については白馬村議会としても研究していきます。

白馬商工会主催 賀詞交歓会

1月15日に白馬東急ホテルにおいて、白馬商工会主催賀詞交歓会が開催されました。

村内の事業者や行政、商工会関係者など多数出席し、白馬の商工業の発展と地域経済の活性化を誓いました。



議員個人が発行する会報、折込チラシ、SNS等について

議長 太田 伸子

12月定例会中、議員個人が発行した出版物に関し、(一社)観光局から抗議文が議長に寄せられました。そのことに対し、議会は直ちに議員懇談会を開催し、以下のことについて確認を行いました。

- 議員個人が発行する会報、折込チラシ、インターネット等による発信は、個人の責任において行うものであり、議会は個人発信の内容について、関与や評価を行う立場ではないこと
- 記述に対しての信ぴょう性、真実の確認は必ず裏付けをとること
- 品位と名誉を損なう行為を慎むこと
- 疑義を持たれた時は自ら誠実にその説明にあたり、責任を明らかにすること
- 議員には表現の自由と同時に、議会人としての自覚と節度のある行動が強く求められていること

スマホアプリで白馬議会だより配信中！



マチイロ

マチを好きになるアプリ



お気軽に！ご意見をお寄せください！

▶ gikai@vill.hakuba.lg.jp

85-0725(直通) 72-7001(ファックス)

わたしのひとこと



恋こがれて白馬村

白馬町 深田 剛史

初めて白馬村を訪れたのはすでに半世紀以上前のこと。駅名が信濃四谷から白馬になった年でした。

以来、いったい何度この地へ足を運んだことか。ときには帰るのが悲しく、バックミラーに映る白馬の山々に目をやりながら涙を流したことも。

8年前に妻が他界、息子も結婚したので名古屋の家を息子夫婦に譲り、老犬を連れて白馬村へ移住できたのは還暦を迎える前の月でした。

何がありがたいって、老犬ハチと村のあちこちを散歩できるし、陽が暮れても名古屋へ帰らなくていいし、女神のような白馬三山のそばにいつもいられる幸せでしょうか。

村が抱える課題はいくつもあることではしょうけど、過疎化が進む他の自治体からすれば白馬村の好条件は羨ましく思われているはず。

地方自治体の成功モデルになるため、村民としてその一端をお手伝いできれば嬉しい限りです。



紆余曲折

エコランド 平島 万弥

大阪から家族で移住して来たのは、今から二十年前の事です。

夫と二人でログハウスをセルフビルドで建てました。私自身も地下足袋を履いて腰には釘袋を提げ、口に釘を咥え屋根のベニヤ板を打ち付けました。その後、夫から丸鋸の使い方も教わり、マイ丸鋸を手に入れた時はすごくトキメキました。令和に入り、今度は今から二年前に自宅の庭に夫と二人でパン工房を作りました。コンテナハウスの屋根に二人で梁を架けた時は、梁の重さに腕がちぎれるかと思いました。

開業前に白馬村の創業支援制度を利用して頂きました。商工会主催の創業塾では同じ志の仲間と出会い、事業計画も多くの学びが有りました。

自分達で切り開く分、時間はかかりますが、大きな達成感や夢は見るものでは無く叶えるものだと、強心に念じてこれからも邁進したいと思います。



古き良き

塩島 星河 隆史

昨年「切久保神社例大祭」の会長を務めさせて頂きました。青鬼・通・立の間・塩島・森上・新田・切久保・落倉の祭りです。

実行委員会は「子ども達が戻ってきたくなる祭り」を合言葉に掲げ、インターナショナルスクールも参加し神輿を増やし、更に賑やかになりました。

伝統の「尾花踊り」「浦安の舞」は、毎年指導してくださる先生のもと、小中学生が熱心に習い、見守る母親、裏方の若連。本番後の皆さんの安堵の姿は最高。日常の1コマですがとても大切な経験です。

なんでも簡素化。それじゃつまらない。

餅つき、どんど焼き、花見、盆踊り、そば祭り。素材は揃っている。重荷にならず負担にならずユルイ感じで。

家族・近所・地区世代間を超えた絆を大切に、白馬を楽しみましょう。

そうそう、祭りは毎年9月の敬老の日。是非足を運んでみてください。

あとがき

12月議会は議案がたくさんありましたが、①新「マナー条例」、②第6次総合計画基本構想、③人事院勧告に基づく給与関係等が主な内容でした。

村民の皆さんに大きくかわるのは①と②ですが、限られた字数で大筋ご理解いただけたでしょうか。白馬村議会には「議会だより」モニター制度がないので、村民の皆さんのレスポンスを十分くみ取れているか、編集委員会も模索しながら格闘しています。

村民の毎日の話題は雪。まとめは、たいいてい「ほどほどがいいね」。そう願っています。

(鈴木 均)

議会広報特別委員会				
委員長	委員長	委員長	委員長	委員長
太田 学	永井 勝則	丸山 宏充	鈴木 均	酒井 洋
内川 史朗	丸山 和之	太田 伸子		



再生紙を使用しています

白馬議会だよりは、環境にやさしい植物油型インキと再生紙を使用しました。(PO 印刷)